PCT

国際調査報告

(法第8条、法施行規則第40、41条) [PCT18条、PCT規則43、44]

出願人又は代理人 の書類記号 F1040288W000	類記号 F1.040288W000				
国際出願番号 PCT/JP2004/007186	国際出願日(日.月.年) 26.05.2004	優先日 (日.月.年) 28.05.2003			
出願人 (氏名又は名称) 三洋電機株式会社					
この写しは国際事務局にも送付されることの国際調査報告は、全部で 4	00	18条)の規定に従い出願人に送付する。			
b. この国際出願は、ヌクレン 2. 間求の範囲の一部の調査	オチド又はアミノ酸配列を含んでい ができない(第Ⅱ欄参照)。	1			
74. 96.91°24.17.1°	願人が提出したものを承認する。				
: -	に示すように国際調査機関が作成 				
5. 安州974.		並行規則第47条(PCT規則38.2(b))の規定により は、この国際調査報告の発送の日から1カ月以内にこ ことができる。			
6. 図而に関して a. 要約書とともに公表される 第 <u>3</u> 図とする。 ②	□ 出願人は図を示さなかったので	で、国際調査機関が選択した。 表しているので、国際調査機関が選択した。			
b. □ 変約とともに公表され	しる図はない。				

		ページの2の続き)
YII 調 請求の範囲の一部の	の調査ができないときの意見(第1 ス条(2)(a)) の規定により、この国	ページの2の続き) 国際調査報告は次の理由により請求の範囲の一部について作
上领 8条纸 3項(PCT1)	7条(2)(a)) の規定により、このE	35500000000000000000000000000000000000
发しなかった。		
X U X N- J IC.		www.vsm水もオストレを要しない対象に係るものである。
1. 🏻 請求の範囲	は、この国際調査	機関が調査をすることを要しない対象に係るものである。
•••		
つまり、		
		·
•		祭調査をすることができる程度まで所定の要件を満たしてい
	け 有音義な国際	祭調査をすることができる程度はで別定り安ける。これで
2. 請求の範囲	ひょだてょのできる つまり	
- ない国際出願の部	分に係るものである。つまり、	
=		
*		
\$	•	
		・ ・・・・・ ・ ・・・・ ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	い。公司部分の	範囲であってPCT規則6.4(a)の第2文及び第3文の規定に
3. [] 請求の範囲		THE PLANT OF THE PROPERTY OF T
3. 従って記載され	ていない。	
VE 3 (112 131 =		
		この2の続き)
www.www. 家畑の第一件が	欠如しているときの意見(第1ペー	一シの3の形で7
第川個 犯切0元 1年2		コロV SH 木 松明 け 辺 め た
1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	国際出願に二以上の発明があると	この国際調査機関は配めた。
次に述べるようにこの	当からから、	この国际調査が展示した。 いて位相ずらし量及びずらし方向に基づいて描画処理を行う立体映像表示 いて位相ずらし量及びずらし方向に基づいて描画処理を行う立体映像表示
1 特象の範囲1-325	は、立体視用処理を示す記述部分に基 プ	
		ールはカテ水焼ナス切
世間 プログラムに関す	るものである。	サ博報を 2次元の所定の文字修飾効果を付与する属性情報に変換する規
装置、プログラムに関す	るものである。 5は、3次元立休表示効果を付与する属	生情報を、2次元の所定の文字修飾効果を付与する属性情報に変換する規 4、二文体表示効果を付与する属性情報に変換する規則を含むテキストデー
装置、プログラムに関す 11. 請求の範囲33-4	るものである。 5は、3次元立体表示効果を付与する属り 文字修飾効果を付与する属性情報を、3)	生情報を、2次元の所定の文字修師効果を行ううるねに記せため、 大元立体表示効果を付与する属性情報に変換する規則を含むテキストデー
装置、プログラムに関す 11. 請求の範囲33-4	るものである。 5は、3次元立体表示効果を付与する属り 文字修飾効果を付与する属性情報を、3)	生情報を、2次元の所定の文字修師効果を行ううるねに記せため、 大元立体表示効果を付与する属性情報に変換する規則を含むテキストデー
装置、プログラムに関す 11. 請求の範囲33-4	るものである。 5は、3次元立体表示効果を付与する属り 文字修飾効果を付与する属性情報を、3)	生情報を、2次元の所定の文字修師効果を行ううるねに記せため、 大元立体表示効果を付与する属性情報に変換する規則を含むテキストデー
装置、プログラムに関す は、請求の範囲33-4	るものである。 5は、3次元立体表示効果を付与する属り 文字修飾効果を付与する属性情報を、3)	性情報を、2次元の所定の文字修飾効果を付与する属性情報に変換する規 大元立体表示効果を付与する属性情報に変換する規則を含むテキストデー ように関連している一群の発明であるとは認められない。
装置、プログラムに関す 11. 請求の範囲33-4	るものである。 5は、3次元立体表示効果を付与する属り 文字修飾効果を付与する属性情報を、3)	生情報を、2次元の所定の文字修師効果を行ううるねに記せため、 大元立体表示効果を付与する属性情報に変換する規則を含むテキストデー
装置、プログラムに関す 11. 請求の範囲33-4	るものである。 5は、3次元立体表示効果を付与する属り 文字修飾効果を付与する属性情報を、3)	生情報を、2次元の所定の文字修師効果を行ううるねに記せため、 大元立体表示効果を付与する属性情報に変換する規則を含むテキストデー
装置、プログラムに関す 11. 請求の範囲33-4	るものである。 5は、3次元立体表示効果を付与する属り 文字修飾効果を付与する属性情報を、3)	生情報を、2次元の所定の文字修師効果を行ううるねに記せため、 大元立体表示効果を付与する属性情報に変換する規則を含むテキストデー
装置、プログラムに関す 11. 請求の範囲33-4 則、又は2次元の所定の 夕処理装置、プログラム そして、これら2つの発	るものである。 5 は、3 次元立体表示効果を付与する属 文字修飾効果を付与する属性情報を、3 社 に関するものである。 明群が単一の一般的発明概念を形成する	性情報を、2次元の所定の文字修師効果を17子、おればかない。 次元立体表示効果を付与する属性情報に変換する規則を含むテキストデー ように関連している一群の発明であるとは認められない。
装置、プログラムに関す 11. 請求の範囲33-4 則、又は2次元の所定の 夕処理装置、プログラム そして、これら2つの発	るものである。 5 は、3 次元立体表示効果を付与する属 文字修飾効果を付与する属性情報を、3 社 に関するものである。 明群が単一の一般的発明概念を形成する	性情報を、2次元の所定の文字修師効果を17子、おればかない。 次元立体表示効果を付与する属性情報に変換する規則を含むテキストデー ように関連している一群の発明であるとは認められない。
装置、プログラムに関す 11. 請求の範囲33-4 則、又は2次元の所定の 夕処理装置、プログラム そして、これら2つの発	るものである。 5 は、3 次元立体表示効果を付与する属 文字修飾効果を付与する属性情報を、3 社 に関するものである。 明群が単一の一般的発明概念を形成する	性情報を、2次元の所定の文字修師効果を17子、おればかない。 次元立体表示効果を付与する属性情報に変換する規則を含むテキストデー ように関連している一群の発明であるとは認められない。
装置、プログラムに関す 11. 間求の範囲33-4 則、又は2次元の所定の 夕処理装置、プログラム そして、これら2つの発	るものである。 5は、3次元立体表示効果を付与する属 文字修飾効果を付与する属性情報を、3% に関するものである。 明群が単一の一般的発明概念を形成する な追加調査手数料をすべて期間内に	生情報を、2次元の所定の文字修師効果を行子、おれば が元立体表示効果を付与する属性情報に変換する規則を含むテキストデー ように関連している一群の発明であるとは認められない。 こ納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求
装置、プログラムに関す 11. 間求の範囲33-4 則、又は2次元の所定の 夕処理装置、プログラム そして、これら2つの発	るものである。 5は、3次元立体表示効果を付与する属 文字修飾効果を付与する属性情報を、3% に関するものである。 明群が単一の一般的発明概念を形成する な追加調査手数料をすべて期間内に	生情報を、2次元の所定の文字修師効果を行子、おれば が元立体表示効果を付与する属性情報に変換する規則を含むテキストデー ように関連している一群の発明であるとは認められない。 こ納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求
装置、プログラムに関す 11. 間求の範囲33-4 則、又は2次元の所定の 夕処理装置、プログラム そして、これら2つの発	るものである。 5は、3次元立体表示効果を付与する属 文字修飾効果を付与する属性情報を、3% に関するものである。 明群が単一の一般的発明概念を形成する な追加調査手数料をすべて期間内に	生情報を、2次元の所定の文字修師効果を行子、おれば が元立体表示効果を付与する属性情報に変換する規則を含むテキストデー ように関連している一群の発明であるとは認められない。 こ納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求
装置、プログラムに関す 11.	5は、3次元立体表示効果を付与する属付文字修飾効果を付与する属性情報を、3%に関するものである。明群が単一の一般的発明概念を形成するな。 な追加調査手数料をすべて期間内にて作成した。 料を要求するまでもなく、すべての	生情報を、2次元の所定の文字修助効果を刊子する私は別が元立体表示効果を付与する風性情報に変換する規則を含むテキストデーように関連している一群の発明であるとは認められない。 こ納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求 の調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追
装置、プログラムに関す 11.	5は、3次元立体表示効果を付与する属付文字修飾効果を付与する属性情報を、3%に関するものである。明群が単一の一般的発明概念を形成するな。 な追加調査手数料をすべて期間内にて作成した。 料を要求するまでもなく、すべての	生情報を、2次元の所定の文字修助効果を刊子する私は別が元立体表示効果を付与する風性情報に変換する規則を含むテキストデーように関連している一群の発明であるとは認められない。 こ納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求 の調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追
装置、プログラムに関す 11.	5は、3次元立体表示効果を付与する属付文字修飾効果を付与する属性情報を、3%に関するものである。明群が単一の一般的発明概念を形成するな。 な追加調査手数料をすべて期間内にて作成した。 料を要求するまでもなく、すべての	生情報を、2次元の所定の文字修助効果を刊子する私は別が元立体表示効果を付与する風性情報に変換する規則を含むテキストデーように関連している一群の発明であるとは認められない。 こ納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求 の調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追
装四、プログラムに関す 11. 請求の範囲33-4 則、又は2次元の所定の 夕処理装置、プログラム そして、これら2つの発 1. 区 出願人が必要の の範囲につい 2. 」 追加調査手数料	5ものである。 5は、3次元立体表示効果を付与する属性文字修飾効果を付与する属性情報を、3%に関するものである。 明難が単一の一般的発明概念を形成する な追加調査手数料をすべて期間内にて作成した。 料を要求するまでもなく、すべての納付を求めなかった。	生情報を、2次元の所定の文字修師効果を刊子する私は 次元立体表示効果を付与する風性情報に変換する規則を含むテキストデー ように関連している一群の発明であるとは認められない。 こ納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求 の調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追 期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納
装四、プログラムに関す 11. 請求の範囲33-4 則、又は2次元の所定の 夕処理装置、プログラム そして、これら2つの発 1. 区 出願人が必要の の範囲につい 2. 」 追加調査手数料	5は、3次元立体表示効果を付与する属付文字修飾効果を付与する属性情報を、3%に関するものである。明群が単一の一般的発明概念を形成するな。 な追加調査手数料をすべて期間内にて作成した。 料を要求するまでもなく、すべての	生情報を、2次元の所定の文字修師効果を刊字する場合を記テキストデー 次元立体表示効果を付与する属性情報に変換する規則を含むテキストデー ように関連している一群の発明であるとは認められない。 こ納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求 の調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追 期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納
表で、プログラムに関す 11. 請求の範囲33-4 則、又は2次元の所定の 夕処理装置、プログラム そして、これら2つの発 1. 区 出願人が必要の の範囲につい 2. □ 追加調査手数料	5ものである。 5は、3次元立体表示効果を付与する属性文字修飾効果を付与する属性情報を、3%に関するものである。 明難が単一の一般的発明概念を形成する な追加調査手数料をすべて期間内にて作成した。 料を要求するまでもなく、すべての納付を求めなかった。	生情報を、2次元の所定の文字修師効果を刊字する場合を記テキストデー 次元立体表示効果を付与する属性情報に変換する規則を含むテキストデー ように関連している一群の発明であるとは認められない。 こ納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求 の調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追 期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納
表図、プログラムに関す 11. 請求の範囲33-4 則、又は2次元の所定の 夕処理装置、プログラム そして、これら2つの発 1. 区 出願人が必要の の範囲につい 2.	5ものである。 5は、3次元立体表示効果を付与する属性文字修飾効果を付与する属性情報を、3%に関するものである。 明難が単一の一般的発明概念を形成する な追加調査手数料をすべて期間内にて作成した。 料を要求するまでもなく、すべての納付を求めなかった。	生情報を、2次元の所定の文字修師効果を刊字する場合を記テキストデー 次元立体表示効果を付与する属性情報に変換する規則を含むテキストデー ように関連している一群の発明であるとは認められない。 こ納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求 の調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追 期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納
表で、プログラムに関す 1. 請求の範囲33-4 則、又は2次元の所定の 夕処理装置、プログラム そして、これら2つの発 1. 区 出願人が必つい 追加調査手数料 3. □ 出願人が必要、 付のあった次	5 は、3 次元立体表示効果を付与する属的である。 5 は、3 次元立体表示効果を付与する属性文字修飾効果を付与する属性情報を、3 に関するものである。 明群が単一の一般的発明概念を形成する な追加調査手数料をすべて期間内にて作成した。 料を要求するまでもなく、すべての納付を求めなかった。 な追加調査手数料を一部のみしかての請求の範囲のみについて作成した。	生情報を、2次元の所定の文字修師効果を刊字、あれば加かた元立体表示効果を付与する属性情報に変換する規則を含むテキストデーように関連している一群の発明であるとは認められない。 こ納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求の調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納た。
表で、プログラムに関す 1. 請求の範囲33-4 則、又は2次元の所定の 夕処理装置、プログラム そして、これら2つの発 1. 区 出願人が必つい 追加調査手数料 3. □ 出願人が必要、 付のあった次	5 は、3 次元立体表示効果を付与する属的である。 5 は、3 次元立体表示効果を付与する属性文字修飾効果を付与する属性情報を、3 に関するものである。 明群が単一の一般的発明概念を形成する な追加調査手数料をすべて期間内にて作成した。 料を要求するまでもなく、すべての納付を求めなかった。 な追加調査手数料を一部のみしかての請求の範囲のみについて作成した。	生情報を、2次元の所定の文字修師効果を刊字、あれば加かた元立体表示効果を付与する属性情報に変換する規則を含むテキストデーように関連している一群の発明であるとは認められない。 こ納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求の調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納た。
表で、プログラムに関す 1. 請求の範囲33-4 則、又は2次元の所定の 身処理装置、プログラの発 2. 出願人が必つい 追加調査手数料 3. 出願人が必必要 付のあった次	5 は、3 次元立体表示効果を付与する属付文字修飾効果を付与する属性情報を、3 に関するものである。明群が単一の一般的発明概念を形成するならに関するまでもなく、すべてのというで成した。料を要求するまでもなく、すべての納付を求めなかった。 は 追加調査手数料を一部のみしかの請求の範囲のみについて作成したの	生情報を、2次元の所定の文字修師効果を刊字する場合を元立体表示効果を付与する属性情報に変換する規則を含むテキストデーように関連している一群の発明であるとは認められない。 こ納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納た。
表で、プログラムに関す 1. 割求の範囲33-4 則、又は2次元の所定の 身処理装置、プログラの発 そして、 これら2つの発 1. 区 出願人が必の の範囲につい 追加調査手数料 3. 日 出願人かった次	5 は、3 次元立体表示効果を付与する属付文字修飾効果を付与する属性情報を、3 に関するものである。明群が単一の一般的発明概念を形成するならに関するまでもなく、すべてのというで成した。料を要求するまでもなく、すべての納付を求めなかった。 は 追加調査手数料を一部のみしかの請求の範囲のみについて作成したの	生情報を、2次元の所定の文字修師効果を刊字する場合を元立体表示効果を付与する属性情報に変換する規則を含むテキストデーように関連している一群の発明であるとは認められない。 こ納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納た。
表で、プログラムに関す 1. 割求の範囲33-4 則、又は2次元の所定の 身処理装置、プログラの発 そして、 これら2つの発 1. 区 出願人が必必 の範囲についい 追加調査手数料 3. □ 出願人が必必必 付のあった次	5 は、3 次元立体表示効果を付与する属的である。 5 は、3 次元立体表示効果を付与する属性文字修飾効果を付与する属性情報を、3 に関するものである。 明群が単一の一般的発明概念を形成する な追加調査手数料をすべて期間内にて作成した。 料を要求するまでもなく、すべての納付を求めなかった。 な追加調査手数料を一部のみしかての請求の範囲のみについて作成した。	生情報を、2次元の所定の文字修助効果を刊子する品は情報に変換する規則を含むテキストデー 次元立体表示効果を付与する属性情報に変換する規則を含むテキストデー ように関連している一群の発明であるとは認められない。 こ納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求 の調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追 期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納 た。 ましなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載
表で、プログラムに関す 1. 割求の範囲33-4 則、又は2次元の所定の 身処理装置、プログラの発 そして、 これら2つの発 1. 区 出願人が必の の範囲につい 追加調査手数料 3. 日 出願人かった次	5 は、3 次元立体表示効果を付与する属付文字修飾効果を付与する属性情報を、3 に関するものである。明群が単一の一般的発明概念を形成するならに関するまでもなく、すべてのというで成した。料を要求するまでもなく、すべての納付を求めなかった。 は 追加調査手数料を一部のみしかの請求の範囲のみについて作成したの	生情報を、2次元の所定の文字修助効果を刊子する品は情報に変換する規則を含むテキストデー 次元立体表示効果を付与する属性情報に変換する規則を含むテキストデー ように関連している一群の発明であるとは認められない。 こ納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求 の調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追 期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納 た。 ましなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載
表で、プログラムに関す 11.	5 は、3 次元立体表示効果を付与する属付文字修飾効果を付与する属性情報を、3 に関するものである。明群が単一の一般的発明概念を形成するならに関するまでもなく、すべてのというで成した。料を要求するまでもなく、すべての納付を求めなかった。 は 追加調査手数料を一部のみしかの請求の範囲のみについて作成したの	生情報を、2次元の所定の文字修助効果を刊子する品は情報に変換する規則を含むテキストデー 次元立体表示効果を付与する属性情報に変換する規則を含むテキストデー ように関連している一群の発明であるとは認められない。 こ納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求 の調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追 期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納 た。 ましなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載
 装置、プログラムに関す	5 は、3 次元立体表示効果を付与する属付文字修飾効果を付与する属性情報を、3 に関するものである。明群が単一の一般的発明概念を形成するならに関するまでもなく、すべてのというで成した。料を要求するまでもなく、すべての納付を求めなかった。 は 追加調査手数料を一部のみしかの請求の範囲のみについて作成したの	生情報を、2次元の所定の文字修助効果を刊子する品は情報に変換する規則を含むテキストデー 次元立体表示効果を付与する属性情報に変換する規則を含むテキストデー ように関連している一群の発明であるとは認められない。 こ納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求 の調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追 期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納 た。 ましなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載
表で、プログラスに関する 1. 計求の施財 3 3 - 4 別、又は2 次元の所グラのか 2 別、又は2 かの 2 のの 2 のの 3 として、 こ は 原 人が に で かった 数 は 出 願 人が の あった た な は は れ て い る 3 と は は れ て い る 3 と は は れ て い る 3 と は は れ て い る 3 と は は れ て い る 3 と は は れ て い る 3 と は は れ て い る 3 と は は れ て い る 3 と は は れ て い る 3 と は は れ て い る 3 と は は れ て い る 3 と は は れ て い る 3 と は は は れ て い る 3 と は は は は れ て い る 3 と は は は れ て い る 3 と は は は れ て い る 3 と は は は れ て い る 3 と は は は れ て い る 3 と は は は れ て い る 3 と は は は れ て い る 3 と は は は は は は は は は は は は は は は は は は	5 は、3 次元立体表示効果を付与する属性文字修飾効果を付与する属性情報を、3 では関するものである。明群が単一の一般的発明概念を形成するな。 は	生情報を、2次元の所定の文字を助効果を付与する規性情報に変換する規則を含むテキストデー 次元立体表示効果を付与する風性情報に変換する規則を含むテキストデー ように関連している一群の発明であるとは認められない。 こ納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求 の調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追 期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納 た。 けしなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載 で作成した。
表で、プログラスに 別求の が の の か が に 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別	るは、3次元立体表示効果を付与する属性文字修飾効果を付与する属性情報を、3%に関するものである。明難が単一の一般的発明概念を形成する場合で成立を追加調査手数料をすべて期間内にないますがある。まであるなかった。まであるなかった。まであるなかった。またのみについて作成したの請求の範囲のみについて作成している。といいまたは、サインのは、ファインのは、また、コン・ローのでは、3次には、3次には、3次には、3次には、3次には、3次には、3次には、3次に	性情報を、2次元の所定の文字を助効果を刊すり、名はなかの元立体表示効果を付与する風性情報に変換する規則を含むテキストデーように関連している一群の発明であるとは認められない。 こ納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求の の調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追 期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納た。 さいたいったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載してがあった。
表で、プログラスに 別求の施別 3 3 4 別、アログラスに 別求の施別 3 所定 2 つののが 2 2 2 2 2 2 2 3 2 2 3 2 2 3 2 3 2 3 2	5 は、3 次元立体表示効果を付与する属付文字修飾効果を付与する属性情報を、3 に関するものである。明群が単一の一般的発明概念を形成するならに関するまでもなく、すべてのというで成した。料を要求するまでもなく、すべての納付を求めなかった。 は 追加調査手数料を一部のみしかの請求の範囲のみについて作成したの	性情報を、2次元の所定の文字を助効果を刊すり、名はなかの元立体表示効果を付与する風性情報に変換する規則を含むテキストデーように関連している一群の発明であるとは認められない。 こ納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求の の調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追 期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納た。 さいたいったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載してがあった。

様式PCT/ISA/210 (第1ページの続葉(2)) (2004年1月)

	国際調査報告	国際出願番号 PCT/JP2004	
発明の属す	る分野の分類(国際特許分類(I P C)) n t c l ⁷ H O 4 N 1 3 / O 4 G O 9	G5/22 G09G5/36	
調査を行っ 査を行った最小 1	た分野 限資料(国際特許分類(IPC)) nt cl' H04N 13/04 G09	9G5/22 G09G5/36	
)資料で調査を行った分野に含まれるもの 日本国実用新案公報 1922-1996 日本国公開実用新案公報 1971-2004 日本国登録実用新案公報 1994-2004 日本国実用新案登録公報 1996-2004	4年 4年 4年	
 国際調査で使用	した電子データベース(データベースの名称、	調査に使用した用語)	·
 C. 関連する	と認められる文献	***************************************	関連する 請求の範囲の番号
引用文献の カテゴリー* X	引用文献名 及び一部の箇所が関連すると	026、図面第2図、第5図	1–16
A	JP 2000-125191 A 000.04.28 図面第9図 JP 2002-288690 A 0.04 図面第27図、第28図	(時以後一) 2002.1	17-45
		□ パテントファミリーに関する	別紙を参照。
* 引用文献 「A」特に もの 「E」国際 以後 「L」優先 文献	たきにも文献が列挙されている。 状のカテゴリー 関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示 出願目前の出願または特許であるが、国際出願 に公表されたもの 権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発 しくは他の特別な理由を確立するために引用す (、理由を付す) による開示、使用、展示等に言及する文献 とは願目前で、かつ優先権の主張の基礎となる出	の日の後に公表された文献 す 「T」国際出願日又は優先日後に公 出願と矛盾するものではなく の理解のために引用するもの 「X」特に関連のある文献であって が新規性又は進歩性がないと 行 「Y」特に関連のある文献であって 上の文献との、当業者にとっ よって進歩性がないと考えば	表された文献であっ、発明の原理又は理り、当該文献のみで発き、当該文献のみで発き、当該文献と他の1、こ、自明である組合せられるもの
「P」国際	全完了した日 24.08.2004	国際調査報告の死送日 14.9.	2004 5 P 8 4
	・ 機関の名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官(権限のある職員) 酒井 伸芳 電話番号 03-3581-11	

	08)dr-4- z	国際調査報告						関連	する
(続き <u>) .</u> 月文献の			1 + FF	油するときは	、その関連	する箇所の	表示	請求の範	囲の番号
テゴリー*) O E E E A	(休氏云江	7 C C	1999	. 1	17-45	
Α	$\begin{bmatrix} JP \\ 0 \end{bmatrix}$	9 図面第	第2図 (ファ	ミリーなし)				
	1			(三注電機	株式会社	19	97.	17-45	
A	JP	09-01	1 8 7 9 8 A 落番号 0 0 6 2	(ファミリ	ーなし)				
	01.	1 / 1			•			·	
-									
			•						
-				·					
			·				•		
									•
			-	•					
		•							
						·			
							,		
							1		
	· \								
	,								
								\	
·· \	1					•	-		
							•		
• .							-		
									*
		•				•			
			·						
,									
					•				